

K F C と尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2016年2月

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991



本番に向けて稽古に熱がこもるこどもミュージカルのメンバー

きらり なとり びと☆

小中学生「笑顔と感動届ける」

名取こどもミュージカル 3月26・27日公演

子どもら稽古に汗 名取市内の子どもたちで つくる劇団「名取こどもミ

ュージカル」が3月26、27
の両日、市文化会館大ホー
ルで「HONK! Jr. (ホ
ンク!ジュニア)」を公演

します。午後1時30分開場
午後2時開演。

劇団は子どもたちの育成
と文化・芸術の振興を目的
として2008年に結成さ
れました。市内在住を中心
に小中学生70人が所属して
います。毎年3月の定期公
演に加え、様々な場所です
テージ発表を行っていま
す。

演目の原作は「みにくい
アヒルの子」。いじめや親
子の愛という普遍的な要素
をテーマにしています。10
年の劇団の初演作品でもあ
り、当時から参加するメン
バーにとっては原点回帰と
なる演目です。

団員は公演に向けて昨年
11月から稽古に励んでいま
す。子どもたちは役になり
きり、元気に飛び跳ね、歌
声を響かせながら美しく舞
っていました。

座長で名取一中2年の赤
沼美幸さん(14)は「年齢
の異なる団員をまとめ、演
技の助言をすることは大変
です。学んできた全てを伝
え、みんなで大きな笑顔と
感動を届けたい」と意気込
んでいます。

人前で演じることだけが
目的ではありません。仲間
と力を合わせることで、協



マスクで風邪対策。目指せ最高の舞台!

調性と主体性を育みます。
目標に向かって努力するこ
とは自己表現や成功体験を
得ることにもつながるので
です。

副座長の増田中2年荒木
なつ美さん(14)は「劇を
始めて性格が明るくなっ
た」と笑顔を見せます。同
名取一中2年鹿又理瑚さん
(14)も「人見知りがなく
なり表現することが楽しく
なった」と成長を実感して
います。

舞台を演出するのはレッ
スン教室を主宰し、常盤木
学園高ミュージカル部コー
チでもある朝日雅宏さん
(50)「名取市増田IIです。
朝日さんは演じ方だけにな
く、役の置かれた状況や心
境について伝えます。

舞台監督に加えて、振り
付けや歌唱指導の専門家も
熱心に指導し、プロ演奏家
による生演奏が舞台を支え
ます。朝日さんは「役者と
お客様が空気を共有できる

舞台にしたい」と話しまし
た。

公演は全席自由。前売り
券は高校生以上1,000
円(当日200円増)、3歳
以上中学生以下は500円

名取市 復興支援

ハナモモ通信をご覧の
皆さん松尾孝太呂です。
毎週火曜の午前11時15
分から15分間の番組「復
興情報瓦版」と、毎週金
曜午前10時12分から15分
間放送する「パワーアッ
プなとり」のパースナリ
ティーを務めています。

「復興」では名取市
の発行する復興だよりを
中心に地域情報やイベン
トをお伝えしています。

「パワーアップ」は復
興に向けた活動に取り組
む人、企業などを紹介し
ています。

(当日も同額)で文化会館
やファミリーマートなどで
販売しています。問い合わせ
せは実行委員会・赤沼、0
80(5562)2626。
(白鳥颯也)

という現実です。

目に見える復興だけで
なく、被災者の心のケア
が今後ますます重要にな
ると感じています。

なとらじは災害FMか
らコミュニティFMに
「衣替え」し、間もなく
1年を迎えます。復興の
番組に携わって被災した
市民の役に立てるよう、
番組を作っていきたいと
思います。



◇まつお・こうたる◇毎
週火、金曜日の復興番組
を担当。ロック好き。こ
とは市内の寺社仏閣を
巡りたい。仙台市出身。



1971年に開園した名取市立下増田、愛島の両幼稚園が3月末で45年の歴史に幕を下ろします。市の方針によるもので、来年度にかけて2園ずつ閉園となります。閉園まで残りひと月。最後の園児たちを紹介しましょう。(阿部杏圭)

下増田幼稚園

卒園生は延べ804人となります。本年度は園の畑でとれた野菜でカレーライスやずんだ白玉を作り、みんなで味わいました。運動会やお茶会を通じて地域と積極的に交流しました。



元気いっぱい下増田幼稚園の子どもたち

園での思い出を聞くと、「園庭で水を探ったこと」と対馬緋月ちゃん。荒川祥汰君、加藤陸君、村上絹ちゃん、山村菜々ちゃんは「運動会」。井田和毅君は「お茶会でお菓子を食べたこと」。阿部日和ちゃんと佐賀成望(なるみ)ちゃん、宮田結衣ちゃんは「お姫様やアイドルごっこ」と答えました。

浅野睦美先生は「一緒に過ごした仲間を忘れず、思いやりと強い心を持った人になって」と優しいまなざしを向けました。3月18、22日の午前、園を開放し思い出の写真を公開します。

ありがとう思い出の幼稚園

市立2幼稚園閉園

愛島幼稚園



笑顔あふれる愛島幼稚園の子どもたち

築立つ園児は延べ1076人に上ります。年少のない本年度は多くの人と触れ合う機会を持ちました。思い出は「山の子まつり」と大庭天佑(てんゆう)君、佐藤颯英(そうえい)君、石橋りずちゃん、及川心寧(こね)ちゃん、小野寺海伶(みれい)ちゃん、佐藤里郁(りか)ちゃん、高橋彩ちゃん「ちびっこまつり」と口をそろえます。「サッカー大会が楽しかった」と伊藤悠蒼(ゆあ)ちゃん、小野円ちゃん、古川洸(ひろ)君。

菊地怜絆(れいな)ちゃんは「学芸会で泥棒の役をしたこと」と教えてくれました。相沢明子先生は「目標や夢を持ってチャレンジし、世界を広げてほしい」とエールを送りました。3月22、24日午前と26日午後、園を開放し過去のアルバムや写真を公開します。

下増田、愛島の両幼稚園は本年度、互いの園児が行き来して交流を図る「交流保育」を行ってきました。友情を育むイベントとして1月27日、下増田でお店屋さんごっこを行いました。

南名取・大友弘所長

住所：名取が丘3-22-9
電話：384-3680



KFCの販売所長紹介。最終回は南名取の大友弘所長(54)です。(聞き手は古積明奈)

配達エリアは箱塚、小山、飯野坂、植松、名取が丘、愛島、愛島台です。社員4人、アルバイト33人で、毎朝2、700部を届けます。坂道が多く、路面が凍結する冬場は難儀します。



モットーは「明日に残さず精一杯やる」。その日の仕事に一心不乱に取り組むことで、東日本大震災直後の多忙な時期も乗り越えることができました。中学、高校と朝夕刊の配達をしてきました。仙台市出身。両親、妻、娘の五人家族。販売所では、6代目の所長です。日曜に掲載されるクロスワードパズルが楽しみ。時事用語が答えになるのでためになります。20年以上前から旅客機の写真撮影が趣味。カメラはペンタックス一筋です。福岡空港へ日帰りで出かけたこともあります。地域に密着するため、日頃から積極的なあいさつを心がけています。などを出店しました。24日に最後の交流があります。

お知らせ

発行エリア拡大!

☆ 今月から発行エリアを拡大します。河北仙販・富沢支店が担当する相互台と高館熊野堂の一部が加わり、発行部数が600部増えます。紙面の問い合わせは引き続き河北新報普及センターにお寄せください。